

我が家の防災メモ 避難場所や緊急連絡先を調べてメモしておきましょう

避難場所					
避難所					
緊急連絡先					
お名前	電話番号	生年月日	血液型	学校・勤務先／電話番号	持病・常備薬など

📞 困った時の対応・連絡先

町内の緊急連絡先	
🏢 筑前町役場	0946-42-3111
筑前町役場総合支所	0946-22-2770
🚒 甘木・朝倉消防本部	0946-22-0119
甘木・朝倉消防署 西部分署	0946-42-4711
👮 朝倉警察署	
夜須交番	0946-22-0110 (自動音声)
三輪交番	

消防 Fire Department
119 火事が発生した！大ケガをした！
警察 Police Department
110 事件・事故がおきた！
災害用伝言ダイヤル (安否確認)
171 録音するときは 1 ※ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生してください。
再生するときは 2

ライフライン			
🔌 電気のトラブルは	九州電力送配電 甘木配電事業所	朝倉市甘木 1979 番地 1	0800-777-9412 (コールセンター)
☎️ 電話のトラブルは	NTT 西日本 九州支店	福岡市博多区博多駅東 3-2-28	(局番なし) 113 0120-444-113
💧 上下水道のトラブルは	筑前町 上下水道課 工務係	筑前町新町 421 番地 5	0946-22-3361

筑前町 ハザードマップ



はじめに

災害に強いまちづくりの実現に向けて

近年、全国各地で豪雨災害をはじめ、地震などの自然災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしています。

東日本大震災以降では、震度7を2度観測した2016年(平成28年)熊本地震、そして2017年(平成29年)には、九州北部地方を中心とした「2017年7月九州北部豪雨」など、これまでの想定を超えた自然の猛威が各地を襲いました。

こうしたこれまでの経験を基に、町ではいつ起こるか分からない災害の発生に備えて、対策の強化を図っておりますが、災害が発生した場合、町や防災関係機関の対応だけでは立ち向かうことはできません。被害を最小限にとどめるためには、自助・共助を、町民一人ひとりが心掛け、実践することが大切です。

このハザードマップは、地震・洪水・土砂災害に関する情報のほか、災害情報の入手方法やマイ・タイムラインの作成など、より実用的な内容となっています。家庭のみならず地域や職場など、あらゆる場面で活用し、災害時に備えてください。



2016年(平成28年)「熊本地震」



2017年(平成29年)「2017年7月九州北部豪雨」

もくじ

筑前町ハザードマップについて	1
地震	
筑前町で想定される地震	2~3
日頃から地震に備えよう!	4~5
洪水	
前線/台風、線状降水帯に注意しよう!	6~7
土砂災害	
大雨、地震での地盤のゆるみに注意しよう!	8~9
ハザードマップ	
ハザードマップを確認しよう!	10~11
避難所一覧	12
索引図	13
ハザードマップ	14~23
役立つ情報	24~27
マイ・タイムライン	28~29

筑前町ハザードマップについて

ここ筑前町では、近年において大規模な自然災害は発生していないものの、平成30年7月豪雨では、ため池の決壊をはじめ町全体の道路や河川、田畑等に甚大な被害が発生しています。

災害はいつ、どこで、どの程度の規模で発生するのかわかりません。「その日」は数年後、数十年後、あるいは明日かもしれません。

自分や大切な人を守るためには、起こりうる災害を理解し、日頃から適切な備えをしておく必要があります。

ハザードマップはあくまでも想定図ですが、本ハザードマップを活用して事前に災害をイメージし、避難行動について準備することができれば、いざという時に慌てずに行動することができます。

本ハザードマップには、さまざまな防災に関する情報を掲載していますので、あらかじめ目を通していただき、みなさん一人ひとりの災害に対する日頃の備えに役立ててください。



2018年(平成30年)「平成30年7月豪雨」

家の位置を確認し、避難経路を考えよう

あなたの家の場所をマップに書き込み、最寄りの避難場所・避難所を複数選びましょう。



実際に避難場所・避難所まで歩いてみよう

地図で選択したそれぞれの避難場所・避難所までの経路を確認しましょう。また、避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。



家の周りの災害の危険性を確認しよう

あなたの家は、土砂災害による警戒区域もしくは、浸水が想定されている地域ですか？家の周りにブロック塀などの危険な場所はありませんか？



災害や避難について、話し合ってみよう

あなたの家だけでなく、家族の職場や学校、よく行く場所などについても避難所や危険性を確認しましょう。



マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近しているときに自分や家族が「いつ」「何をするのか」をあらかじめ決めておく計画表のことです。いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように個人や家庭の実情に合ったそれぞれのマイ・タイムラインを作成しておきましょう。



地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

地震 筑前町で想定される地震

地震について学ぼう

福岡県内で存在が確認されている活断層は7つあります。その中でも、人口が集中している4つの活断層(小倉東断層・西山断層・警固断層帯(南東部)・水縄断層)周辺で強い地震動が予測されています。最大震度は、水縄断層の想定で、一部の地域に震度7が予測されているほか、その他の断層においても震度6強を示す地域が存在します。町内においても、広範囲で甚大な被害が予想されていますので、引き続き十分な警戒が必要です。

福岡県内で確認されている活断層の位置



出典先/福岡県地域防災計画 地震・津波対策編 令和6年3月修正

2016年(平成28年)熊本地震

2016年(平成28年)4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5(最大震度7)の地震が発生し、その約28時間後の4月16日1時25分、同じ熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3(最大震度7)の地震が発生し、地震活動域は熊本県阿蘇地方や大分県中部にまで拡大しました。最大震度1以上を観測する地震の回数は最初の震度7の地震から5か月後までに4,000回を超えるなど、地震活動は広域で極めて活発となり、熊本県を中心に甚大な被害が生じました。

死者(災害関連死含)	273名
負傷者	2,809名
住家被害 全壊	8,667戸

出典先/消防庁応急対策室 平成31年4月12日18:00時点集計



震度分布図

最大震度

7

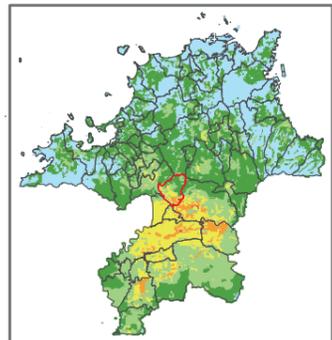
震度は、地震の揺れの大きさを表した指標値

水縄断層を震源とする地震の被害想定

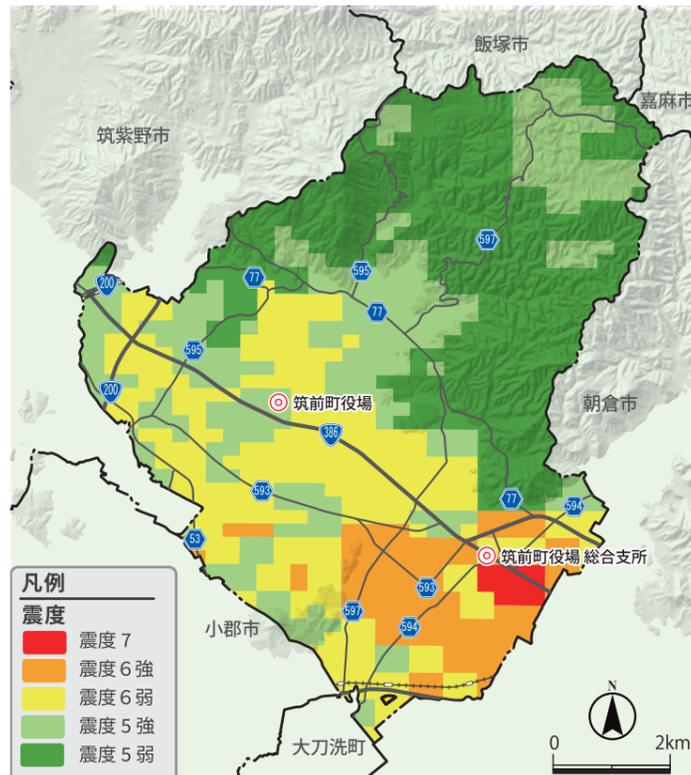
全壊・大破	1,569棟
半壊・中破	484棟
人的被害	89人(死者)

凡例 震度

震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱
震度4
震度3



平成24年3月 福岡県想定全域



凡例 震度

震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱

出典先/地震に関する防災アセスメント調査 平成24年3月(水縄断層)

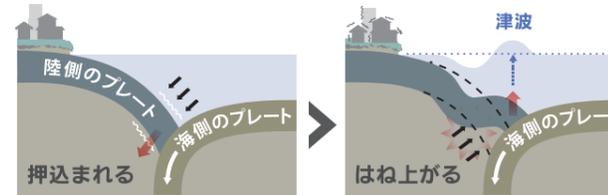
地震大国日本：海溝(プレート境界)型と内陸直下型、2種類の地震

日本列島は、4つのプレートが周囲を取り囲む地震密集地です。日本で地震が多いのは、これらのプレートがぶつかり押し合うことによりエネルギーの破壊が起こるためであり、世界中で発生する地震のおよそ10%が日本列島周辺で発生しています。

日本列島周辺では、阪神・淡路大震災(1995)以降は「地震の活動期」に入っており、今後は高い確率で発生が予想されている南海トラフ巨大地震(海溝型)とその活動の前後で起こる活断層地震(内陸直下型)への警戒と備えが重要です。

海溝(プレート境界)型地震

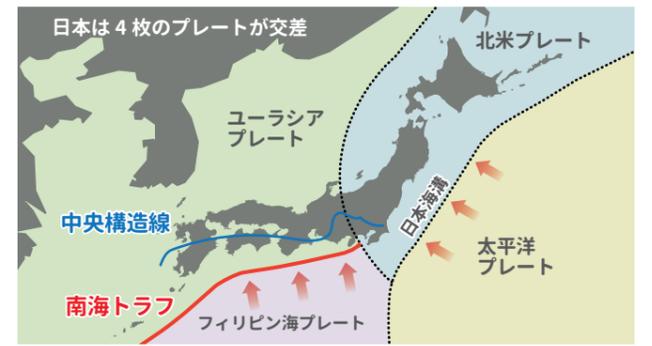
関東大震災、十勝沖地震、東日本大震災など



海側プレートが陸側プレートの下に潜り込むことで、境界にひずみエネルギーが溜まり、これが限界に達したときにプレートが元に戻る力ではね上がり、地震が起こります。(押込まれるときにも内陸側で地震が起きます)

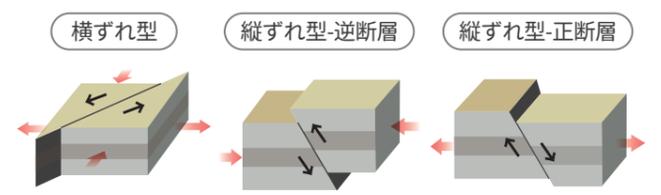
マグニチュードと震度について

地震を表す「マグニチュード(M)」は、「地震エネルギーの大きさ(規模)」を、「震度」は「地震のゆれの強さ」を示します。「マグニチュード=エネルギー」が大きくても、震源が遠い、深い場合は「震度=ゆれの強さ」が小さくなります。逆に「マグニチュード」が小さくても、震源が近い、浅い場合は「震度」が大きくなります。



内陸直下型地震

阪神・淡路大震災、新潟中越沖地震、芸予地震など



地下の岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで、内部にひずみのエネルギーが溜まり、これが限界に達したときに、ある面(活断層面)を境にずれ動き直下で地震が起こります。海溝に沈むプレート内でも同じ現象が起こります。

マグニチュードが1増えると地震のエネルギーは...



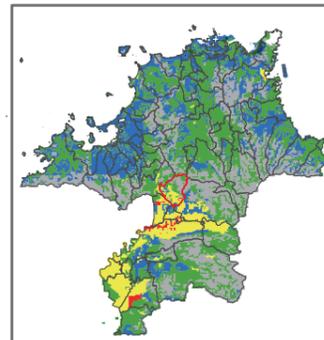
液状化危険度分布図

液状化とは、地震のゆれによって砂粒が相互にかみ合っていた状態がはずれ、土が泥水化する現象です。埋立地や河川など水分をたくさん含んだ砂質の地盤で発生する現象で、噴砂や地盤沈下を伴います。

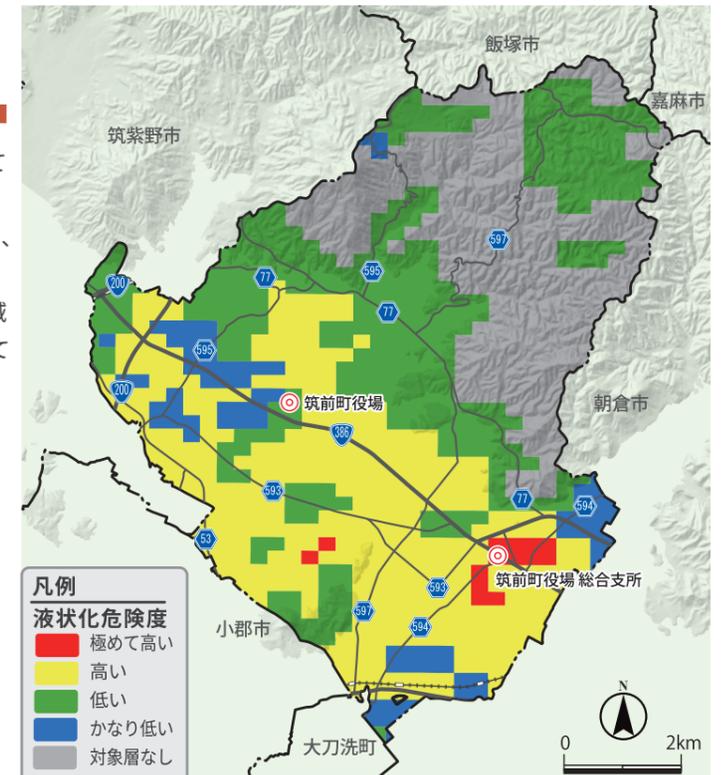
東日本大震災では、震源域から遠く離れた東京湾でも広域に発生し、巨大地震では、遠方でも発生することが分かっています。

凡例 液状化危険度

極めて高い
高い
低い
かなり低い
対象層なし



平成24年3月 福岡県想定全域



凡例 液状化危険度

極めて高い
高い
低い
かなり低い
対象層なし

出典先/地震に関する防災アセスメント調査 平成24年3月(水縄断層)

地震 日頃から地震に備えよう！

震度 5弱 大半の人が恐怖を覚え、物につかまると感じる。

- 一般的な木造建物は、壁などに軽微なひび割れ・亀裂が入ることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは、倒れることがある。
- 亀裂や液状化、落石、がけ崩れが発生することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。

震度 5強 物につかまらなと歩くことが難しい。

- 一般的な木造建物は、壁などにひび割れ・亀裂が見られることがある。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 6弱 立っていることが困難になる。

- 一般的な木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度 6強 はわないと動くことができない。飛ばされることもある。

- 一般的な木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

震度 7 動くこともできず、飛ばされることもある。

- 一般的な木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。
- 一般的な鉄筋コンクリート建物は、倒れるものが増える。
- 広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

液状化の発生も考えておきましょう

液状化が発生すると、建物の倒壊や道路の沈下が起こり、通行が難しくなる場合があります。液状化が発生する可能性がある場所をあらかじめ確認しておき、より安全に避難できるルートを考えてみましょう。

いろいろな場所での対応の仕方

地震から命を守るために、いざという時のとっさの避難行動や、安全でスムーズに避難するための方法を日頃から考えておきましょう。

家の中

- 頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- ガス器具、ストーブなどの火を消しましょう。(元栓を締める)
- 電気ブレーカーを落としましょう。

職場・学校

- カバンなどで頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- 本棚などの転倒に注意しましょう。

店舗・スーパー等

- 頭を保護し、ショーケースなどから離れましょう。
- 壁や太い柱に身を寄せましょう。あわてて出口に殺到せず、係員の指示に従いましょう。

人が大勢いる場所

- あわてて走り出すと危険です。係員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。

エレベーター

- すぐに各階のボタンをすべて押し、停止した階でおりましょう。
- 閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めましょう。

狭い路地

- 狭い路地、塀ぎわでは瓦などが落ちてきたり、建物や塀、電柱が倒れてきたりするのを遠ざかりましょう。

自動車の運転中

- 道路の左側か空き地に車を止め、エンジンを止めましょう。
- 警察官が交通規制を行っている場合は、その指示に従いましょう。
- 車を離れるときはキーをつけたままにし、ドアをロックしないでおきましょう。

バスや電車の中

- 急停車することがあるので、つり革や手すりなどにしっかりとつかまりましょう。
- 途中で止まっても勝手に行動せず、乗務員のアナウンスに従って落ち着いた行動を取りましょう。

ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

筑前町で最大想定震度は7です！

P.14 ~ P.23

地震発生! Shake Out

- 高層階はより大きく揺れます
- 火事に注意しましょう
- ブロック塀に注意しましょう
- 壊れた建物に注意しましょう
- 家は、建物の中でも比較的安全な場所に移動しましょう
- 車は道路の左脇へ寄せ、鍵はつけたままで避難しましょう

避難場所 避難所

- 被害のおそれがある人(危険)
- 避難施設へ逃げている人(移動)
- 避難施設に滞在している人(安全)

まずやること

シェイクアウト

低い姿勢で、頭を守って揺れがおさまるのを待ちましょう。

Shake Out

DROP! COVER! HOLD ON!

まず低く 頭を守り 動かない

避難時の注意 - あわてず、冷静に

- すばやく火の始末** 「火を消せ！」とみんなの声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を消しましょう。
- 周りに気を付けよう** 塀が倒れたり、火災が発生します。ガラスや瓦などの落下物に注意しましょう。
- 余震に注意** 余震が繰り返す起ります。あらかじめ危険の少ない避難路を調べておきましょう。

家具の転倒防止対策

家具の下敷きにならないように固定しましょう

地震によるけがを防止するため、各家庭において対策を行うことが大変重要です。

- L字金具 ●チェーン固定
- 突っ張り棒
- 家具転倒防止板
- 粘着マット ●開き戸固定
- ガラス飛散防止フィルム

水・食料の備蓄

3日間をしのぐ

震災直後は、冷蔵庫の中をはじめ、台所周りに買い置きしている普段の食料・飲料水を工夫して食べましょう。

飲料水は、1人で1日3リットル
3リットル×家族分(4人)×3日間
=36リットル(2リットルペットボトル18本分)

詳しくは P.26 へ

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

洪水 前線/台風、線状降水帯に注意しよう！

洪水の大元は？

前線の停滞や台風の襲来によって同じ場所で数時間にわたり大量の雨が降る線状降水帯、一時的に激しい雨が降る集中豪雨に注意が必要です。

1. 前線の停滞

日本付近では、6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞して、雨が降り続きます。



2. 台風の接近

台風は暴風と大雨に注意が必要です。台風の規模によっては、広範囲にわたって甚大な被害をもたらします。



3. 線状降水帯

大気の状態が不安定な時、局所的な前線や地形などの影響で暖かく湿った空気が持ち上がり積乱雲が発生します。次々と発生する積乱雲が列になり、線状降水帯となって同じような場所で大雨が続きます。



洪水が起こる原因は？

1. 堤防の決壊で起こる「外水氾濫」

河川の堤防が増水により越水・浸透・洗掘・亀裂等により決壊し、市街地に水が流れ込むことをいいます。



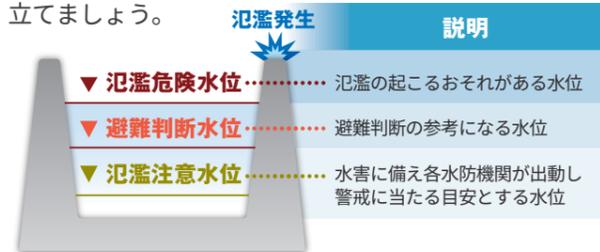
2. 排水機能が追いつかず起こる「内水氾濫」

集中的な豪雨等により側溝や用水路などの排水機能が雨水に耐え切れず浸水することをいいます。



河川の水位情報と避難判断

主要な河川では、氾濫の危険度などを示す水位が定められています。河川の水位情報に注意して、早めの避難に役立てましょう。



最新の災害情報を入手しましょう **P.27**

ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

P.14 ~ P.23

川があふれそう！

- 被害のおそれがある人(危険)
- 避難施設へ逃げている人(移動)
- 避難施設に滞在している人(安全)

ここにいると危険です避難所の場所を確認しましょう

体の不自由な人は早めに避難を始めましょう

浸水すると用水路やマンホールが見えにくくなります

体の不自由な人の支援など、困っている人を助けましょう

避難場所 避難所

災害時の避難所開設情報は、P.27で紹介している方法で入手できます

川に近づかない！

ライブカメラの活用
大雨・洪水時の河川は水位が短時間で急上昇するため、気づいてからでは逃げられません。大変危険なので、絶対に近づかないでください。
河川の状況はライブカメラ画像で確認しましょう。



国土交通省 川の防災情報

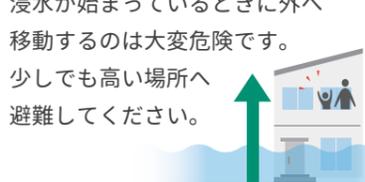
適切な避難方法を

- 洪水時の避難方法**
- ① 浸水しない地域の親戚・友人宅へ避難
 - ② 近くの避難所へ避難
 - ③ 垂直避難(高いところへの避難)



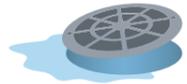
屋内安全確保

浸水がすでに始まっている場合は今いる建物内で垂直避難
浸水が始まっているときに外へ移動するのは大変危険です。少しでも高い場所へ避難してください。



避難の注意

用水路・マンホールは危険！
浸水するとマンホールや用水路が見えにくくなります。また、水が吹き出す場合があります。大変危険です。



避難の時は足元注意！
浸水している場所を歩くときには、棒などで足元をよく確認し、用水路や側溝などに注意して避難しましょう。水の深さが膝を超えると歩行が難しくなります。
(目安)
大人男性 …… 水位 70cm
大人女性 …… 水位 50cm
子供 …… 水位 20cm



アンダーパスに注意しよう！
アンダーパスとは、交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のことをいいます。地形的に雨水が集中しやすい構造となっています。大雨、洪水時には自動車での進入はやめましょう。



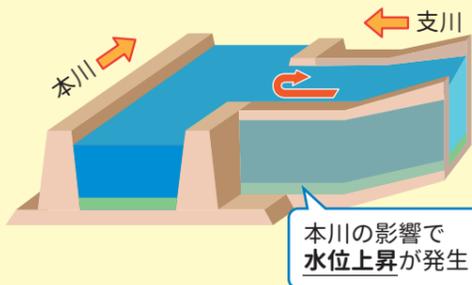
大雨時の災害リスクを知る

大雨時に想定される流域での災害リスクを知っておくことは重要です。また、水位情報により河川の状況を知ることができます。



バックウォーター現象について

バックウォーター現象とは、河川の本川が増水したことによって支川の流れがせき止められたり逆流したりするものです。本川と支川の水位が高い時間が重なって、支川の洪水が流れにくくなります。



危機管理型水位計について

危機管理型水位計は、洪水時の水位観測に特化した水位計で、一定の水位を超えた時に、観測モードに切り替わり、10分以内毎に水位データを観測します。危機管理型水位計は、一般財団法人河川情報センターが提供する「川の水位情報」で閲覧することができます。



川の水位情報

ため池の増水や決壊に注意しよう！

大雨や地震によりため池が増水したり決壊することにより下流域に被害を及ぼすことも考えられます。詳しくは町のホームページより各ため池ハザードマップをご確認ください。



筑前町ため池ハザードマップ

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

土砂災害 大雨、地震での地盤のゆるみに注意しよう！

緑豊かな自然環境が広がった筑前町では、風水害や地震による土砂災害のおそれがあります。近年の土砂災害の状況を踏まえ、国では令和3年8月に「土砂災害防止法」を改定し、国民の生命および身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。

近年の気象状況を踏まえ、土砂災害についての理解を深め、発生に備えてスムーズな避難を行うことが防災・減災につながります。

山間部

山崩れに注意が必要です。山崩れは、集中豪雨だけでなく地震によっても発生します。

急傾斜地

がけ崩れに注意が必要です。がけ崩れは、豪雨や地震によって突然発生します。

下流部

山間部の集中豪雨に注意が必要です。豪雨によって山崩れが起きると、土石流の危険があります。

2018年(平成30年)7月豪雨

7月5日から本州付近に停滞する梅雨前線が活発化し、九州から東北にかけて、広範囲で断続的に非常に激しい記録的豪雨となり、6日夕方から8日までの降雨記録では、48時間降雨量は124地点、72時間降雨量では122地点で観測史上1位を更新しました。土砂災害発生件数は、1道2府29県で2,581件に及び、土石流等791件、地すべり56件、がけ崩れ1,734件の甚大な被害となりました。

死者	237名	全壊	6,767戸
負傷者	432名	半壊	11,243戸
		一部損壊	3,991戸

出典先/降雨記録:気象庁 平成30年7月13日発表
被災件数:内閣府 平成31年1月9日17:00時点集計



ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

P.14 ~ P.23

- 被害のおそれがある人(危険)
- 避難施設へ逃げている人(移動)
- 避難施設に滞在している人(安全)

外がすでに危険なときは、斜面と反対側の2階に垂直避難！むやみに外に出ないようにしましょう。

高い所に避難しましょう

災害が発生する前に行動しましょう

逃げ遅れた場合は、斜面と反対側の2階で安全確保しましょう

ため池の決壊に注意が必要です

がけ崩れが起きました！

ため池は大丈夫？

土石流が起ころう

雨/土砂災害警戒情報に注意

土砂災害の多くは雨から起きます。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら注意が必要です。土砂災害警戒情報は、土砂災害の危険性が高まった際、福岡県と福岡管区気象台が発表する避難に有効な情報です。早めの避難を行いましょ。

土砂災害警戒情報



逃げ方は立ち退き避難が基本です

安全な場所まで立ち退き避難

レッド・イエローゾーンは崩れる前に早期の避難を！
※土砂災害警戒情報は避難の判断図

直角に逃げましょう！

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。



屋内安全確保

土砂災害がすでに発生し、逃げ後れた場合は建物内の高い場所へ避難

建物の2階以上で斜面とは反対側の部屋など、屋内の少しでも安全な場所へ避難しましょう。特に土石流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上階に避難しましょう。雨が上がっても油断せず注意が必要です。



知っていますか？

ため池の決壊による、土砂災害の危険性

大雨によりため池の水位が上がったり、上流部での土砂災害による土砂の流入により、ため池が決壊する可能性もあります。



日本に土砂災害が多いのは？ 日本列島の地形や地質・気象などの自然条件に大きな原因があります。

- 地形や地質：山地が多く平地が少ない・もろい地質・急流な川
- 気象などの自然条件：大雨/台風・集中豪雨・大雪・地震・火山の噴火など

主な前兆現象 土砂災害が起こる多くの場合、事前に危険と思われる変化が見られます。よく注意してください。

川がにごった

川がにごり、木の枝などが混ざりはじめた



水位が下がった

雨が降り続けているのに川の水位が下がった



亀裂が走った

山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った



石が落ちてきた

山の斜面から石が転がり落ちてきた



湧き水が止まった

今まで枯れたことのない湧き水が止まった



湧き水が増えた

湧き水の量が急に増えた



井戸水がにごった

普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた



地鳴りがする

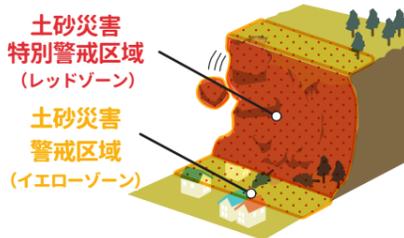
地鳴りの音が聞こえてきた



3つの土砂災害 発生のしくみや土砂の働き方から、大きく「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」があります。

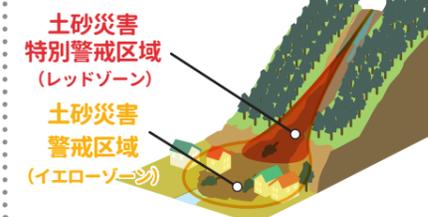
がけ崩れ(急斜面地の崩壊)

傾斜した土地が崩壊する自然現象。突然崩れ落ちるため、ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。



土石流

山肌が崩落して生じる土石などや、溪流の土石などが一体となって流下する自然現象。その流れの速さは、時速20km~40kmで、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

地面は何層もの地層が積み重なってできていますが、大雨が降り続けると地下水がしみこみ、水を通にくい粘土層の上に地下水がたまりやすくなります。この地下水の力に持ち上げられて、粘土層を境に上の地面がゆっくりとすべり落ちます。



土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建物が壊れて命や身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、命や身体に危害が生じるおそれのある区域

福岡県砂防課
<https://sogo-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/sabo/>



土砂災害警戒区域等マップ
<https://www2.sabomap.jp/fukuoka/>



ハザードマップを確認しよう！

自分の住む地域の被害想定を知る

ハザードマップでは、地震や大雨により土砂災害や洪水が起きたときに想定される被害を確認することができます。自分や大切な人たちが普段いる場所の被害想定を確認し、状況に応じた避難をしましょう。

当てはまる にチェック



浸水想定区域外でも、道路の冠水や内水氾濫が発生する可能性があるので注意しましょう。

山沿いは要注意！

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) | 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

河川沿いは要注意！

家屋倒壊等氾濫想定区域

堤防が削られたり水深・流速によって建物の倒壊が想定される区域

洪水浸水想定区域 (浸水の深さ)

5.0m 以上 2階の屋根以上が浸水

3.0~5.0m 未満 2階の屋根まで浸水

1.0~3.0m 未満 2階の床下まで浸水

0.5~1.0m 未満 1階の床上まで浸水

0.5m 未満 1階の床下まで浸水

正しい避難行動を確認しよう！

「いつ」「どこに」「どうやって」避難する？

土砂災害警戒区域や浸水の深さに応じてどのような避難行動をとるか、事前に決めておくことが大切です。「いつ」「どこに」「どうやって」避難するのか、家族で話し合っておきましょう。

外が明るいうちに雨が強くなる前に！

安全な避難経路と時間が確保されているときは

外が明るいうちに必ず避難

土砂災害警戒区域外 かつ 浸水しない安全な場所へ

自宅以外の安全な場所へ
事前に決めてチェック

<input checked="" type="checkbox"/>	知人・親戚の家
<input checked="" type="checkbox"/>	指定緊急避難場所 / 指定避難所
<input checked="" type="checkbox"/>	ホテル (事前予約して宿泊)

氾濫の危険あり 水平避難

指定緊急避難場所 もしくは 指定避難所

今いる建物の2階以上 または 近くの安全な高い建物へ

垂直避難

すでに外が危険な場合

- 暗くなっている
- 大人の膝上まで浸水している
- 道路と水路の区別がつかない
- マンホールが見えない 等

一階建ての建物からは避難！

あわてず、その場にとどまり安全確保

安全だと思われる場合

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイ・タイムライン

避難所一覧

指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所

指定緊急避難場所



指定緊急避難場所とは、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れることを目的とした場所、施設です。

指定避難所



指定避難所とは、自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活を送ることを目的とした公共施設などです。

福祉避難所

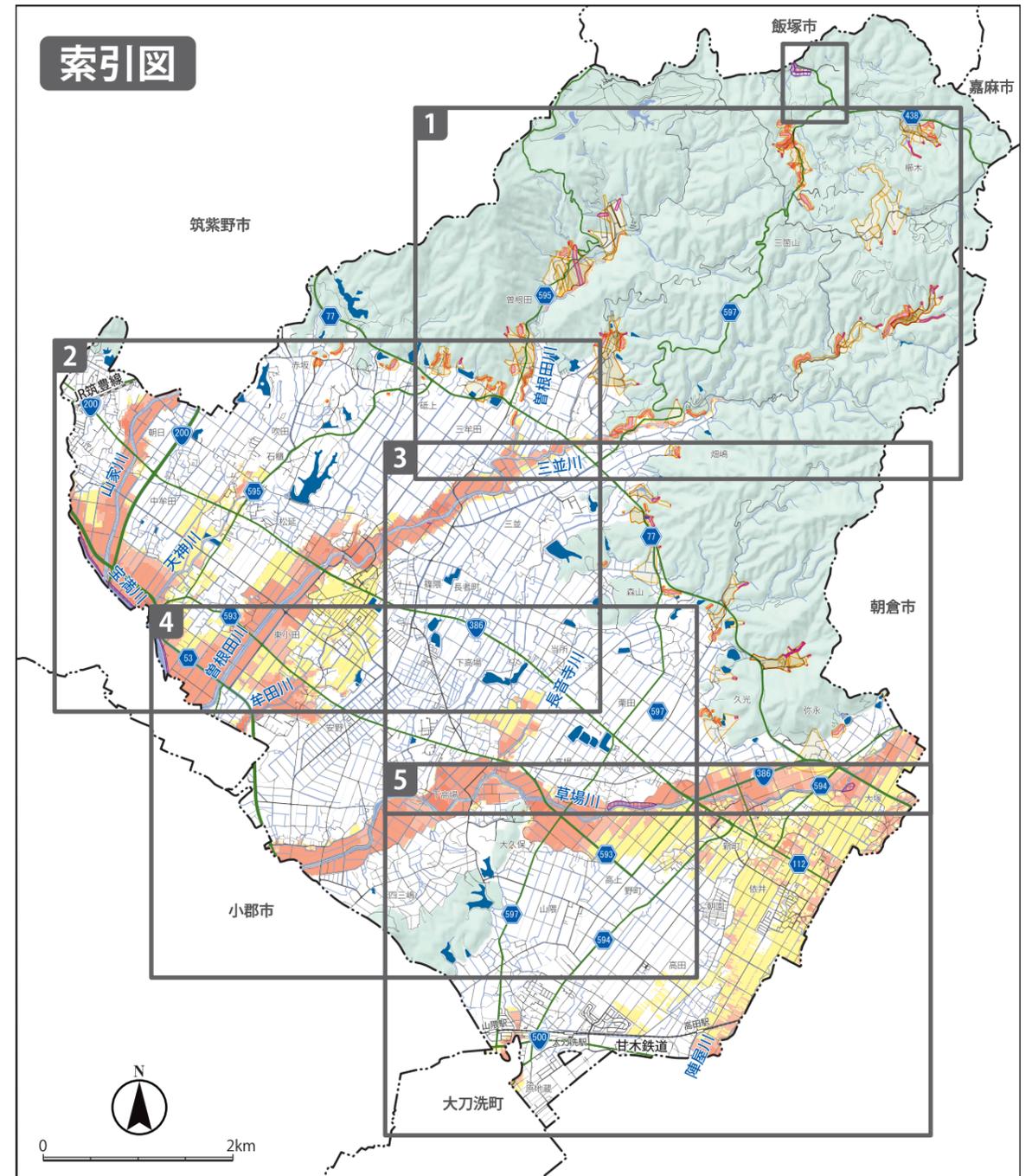


高齢や障がいなどの理由で、一般の避難所での生活が困難な要配慮者に対して、特別な配慮が受けられる施設です。対象者は、施設等に入所・入院していない在宅の方です。

番号	施設名	住所	指定緊急避難場所				指定避難所	福祉避難所
			洪水	土砂災害	地震	大規模火災	利用可能	利用可能
1	三並小学校 体育館	三並 1354-1	○	○	×	×	○	-
	グラウンド		×	×	○	○	-	-
2	中牟田小学校 体育館	中牟田 145-1	○	○	×	×	○	-
	グラウンド		×	×	○	○	-	-
3	東小田小学校 体育館	東小田 436-1	○	○	×	×	○	-
	グラウンド		×	×	○	○	-	-
4	三輪小学校 体育館	新町 400	○	○	×	×	○	-
	グラウンド		×	×	○	○	-	-
5	夜須中学校 体育館	東小田 3539-1	○	○	×	×	○	-
	グラウンド		×	×	○	○	-	-
6	三輪中学校 体育館	久光 1600	○	○	×	×	○	-
	グラウンド		×	×	○	○	-	-
7	町宮三輪グラウンド	高上 597-1	×	×	○	○	-	-
8	ちくぜん少年大使館（広場）	高田 2317-1	×	×	○	○	-	-
9	夜須高原記念の森東駐車場	榎木 3-6	×	×	○	×	-	-
10	男女共同参画センター「リブラ」	新町 440	○	○	×	×	-	-
11	コスモスプラザ「敬老館」	篠隈 373	○	○	×	×	○	-
12	夜須高原青少年自然の家	三箇山 1103	○	○	×	×	○	-
13	農業者トレーニングセンター	東小田 1576-1	○	○	×	×	○	-
14	めくばーる「めくばり館」	久光 951-1	-	-	-	-	○	-
15	社会福祉法人障害者支援施設 菊池園	山隈 1607-11	-	-	-	-	-	○
16	社会福祉法人朝老園 特別養護老人ホーム 朝老園ひさみつ	久光 1380-1	-	-	-	-	-	○
17	社会福祉法人朝倉社会事業協会 朝倉苑	原地蔵 2226-3	-	-	-	-	-	○
18	社会福祉法人朝老園 特別養護老人ホーム 朝老園	朝日 586	-	-	-	-	-	○

○ … 利用可能施設 × … 利用不可能施設

索引図



このマップに掲載しているハザード情報

ハザード種別	提供元
浸水想定区域 以下に示す河川が想定最大規模の降雨によって氾濫した場合の浸水状況を予測した区域 穂波川 24時間の総雨量989mm 宝満川・草場川・曾根田川・三並川・山家川・長音寺川・牟田川・天神川 24時間の総雨量926mm 大刀洗川 24時間の総雨量1,055mm 陣屋川 24時間の総雨量1,084mm 小石原川 24時間の総雨量969mm	穂波川・宝満川・大刀洗川・小石原川 福岡県 平成30年4月27日 公表 三並川・山家川・長音寺川・牟田川・天神川・陣屋川 福岡県 令和5年5月26日 公表 草場川・曾根田川 福岡県 令和4年5月27日 公表
家屋倒壊等氾濫想定区域 家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域	福岡県 令和5年7月28日告示まで
土砂災害警戒区域（イエローゾーン） 土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域で警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域	福岡県 令和5年7月28日告示まで
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン） 土砂災害警戒区域のなかでも、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域で一定の開発行為や居室を有する建築物の構造が規制されている土地の区域	福岡県 平成29年5月26日告示まで

1 筑前町ハザードマップ

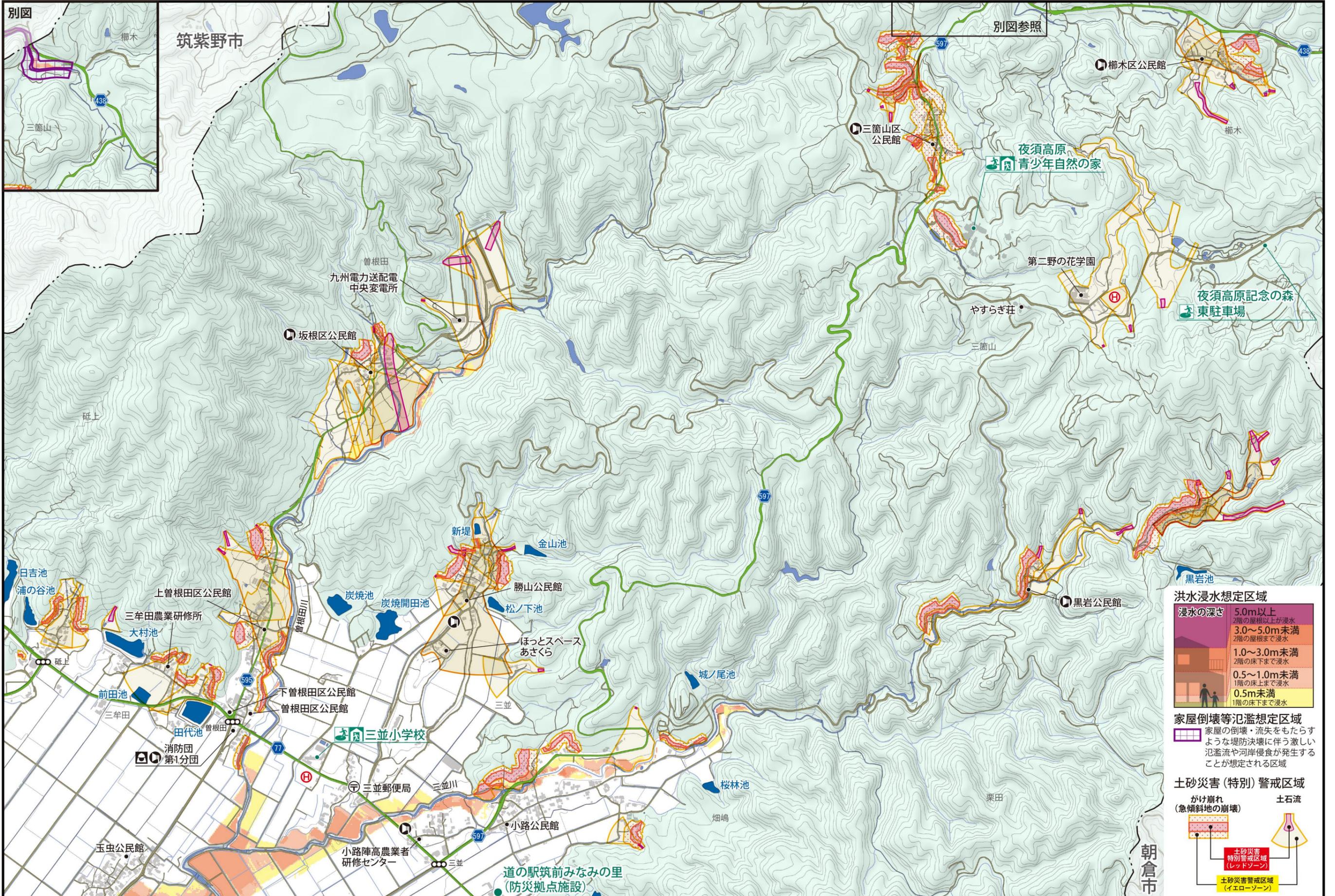
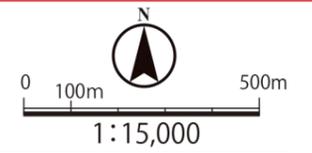
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

- 庁舎
- 消防機関
- 警察機関

- 医療施設
- 雨量観測所
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 災害用臨時ヘリポート
- 防災行政無線

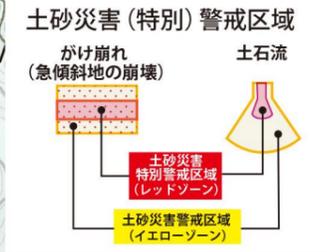
- アンダーパス
- 郵便局
- 防災重点ため池



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	想定内容
5.0m以上	2階の屋根以上が浸水
3.0~5.0m未満	2階の屋根まで浸水
1.0~3.0m未満	2階の床下まで浸水
0.5~1.0m未満	1階の床上まで浸水
0.5m未満	1階の床下まで浸水

家屋倒壊等氾濫想定区域
 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域



地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

2 筑前町ハザードマップ

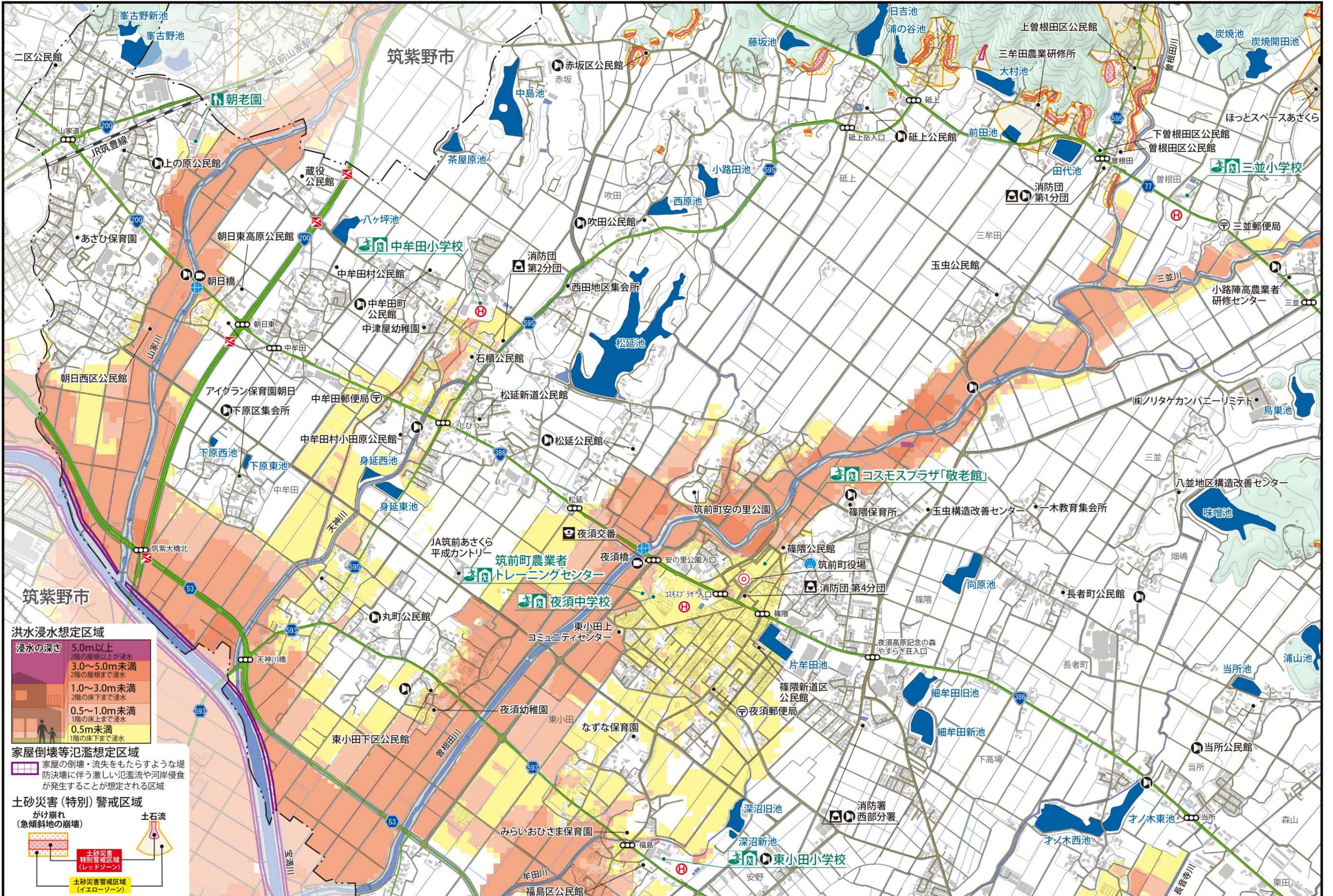
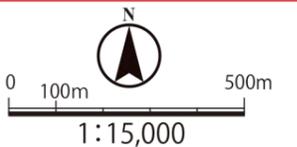
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

- 庁舎
- 消防機関
- 警察機関

- 医療施設
- 雨量観測所
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 災害用臨時ヘリポート
- 防災行政無線

- アンダーパス
- 郵便局
- 防災重点ため池



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0m以上
	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満
	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満
	2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満
	1階の床下まで浸水
	0.5m未満
	1階の床下まで浸水

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

土砂災害(特別)警戒区域

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) 土石流

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイ・タイムライン

3 筑前町ハザードマップ

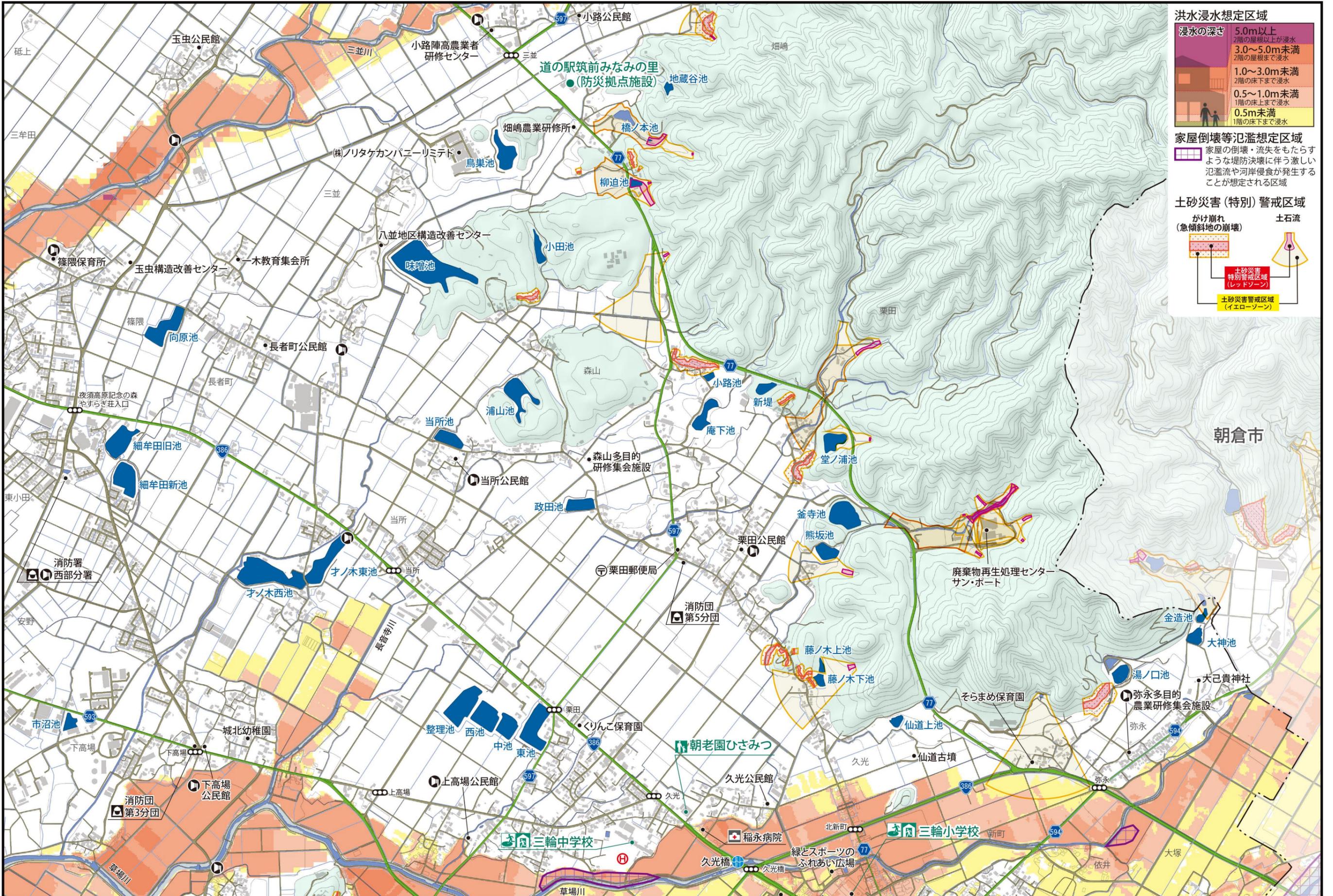
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

- 庁舎
- 消防機関
- 警察機関

- 医療施設
- 雨量観測所
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 災害用臨時ヘリポート
- 防災行政無線

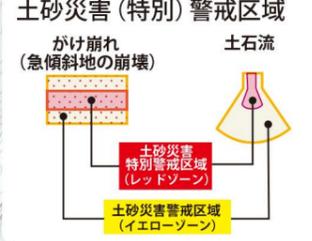
- アンダーパス
- 郵便局
- 防災重点ため池



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0m以上
	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満
	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満
	2階の床まで浸水
	0.5~1.0m未満
	1階の床上まで浸水
	0.5m未満
	1階の床下まで浸水

家屋倒壊等氾濫想定区域
 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域



地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイタイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイタイムライン

4 筑前町ハザードマップ

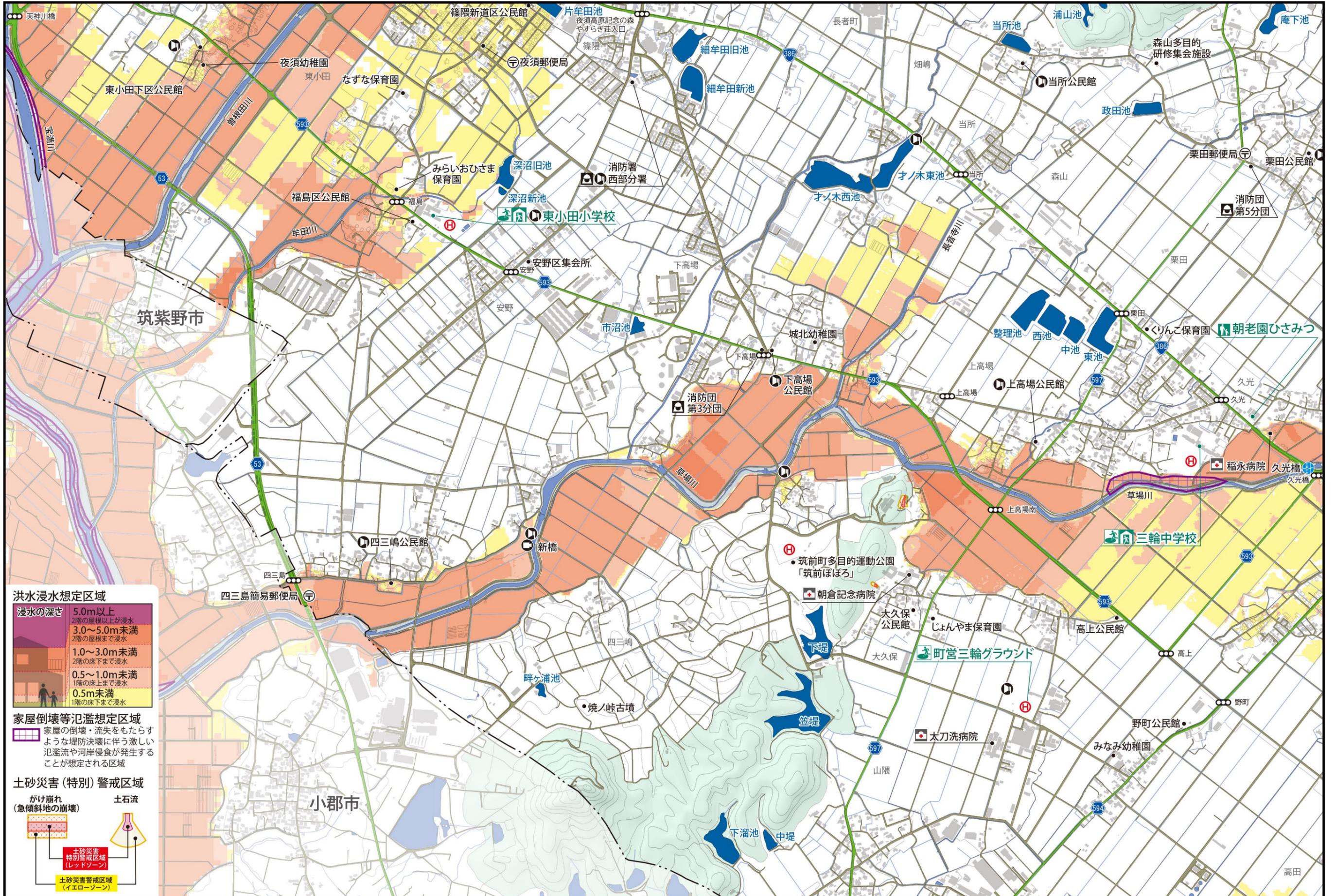
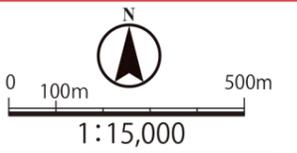
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

- 庁舎
- 消防機関
- 警察機関

- 医療施設
- 雨量観測所
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 災害用臨時ヘリポート
- 防災行政無線

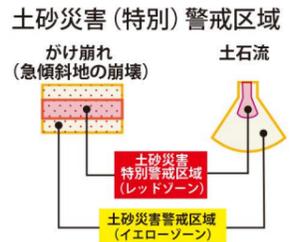
- アンダーパス
- 郵便局
- 防災重点ため池



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0m以上
	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満
	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満
	2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満
	1階の床下まで浸水
	0.5m未満
	1階の床下まで浸水

家屋倒壊等氾濫想定区域
 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域



地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイ・タイムライン

5 筑前町ハザードマップ

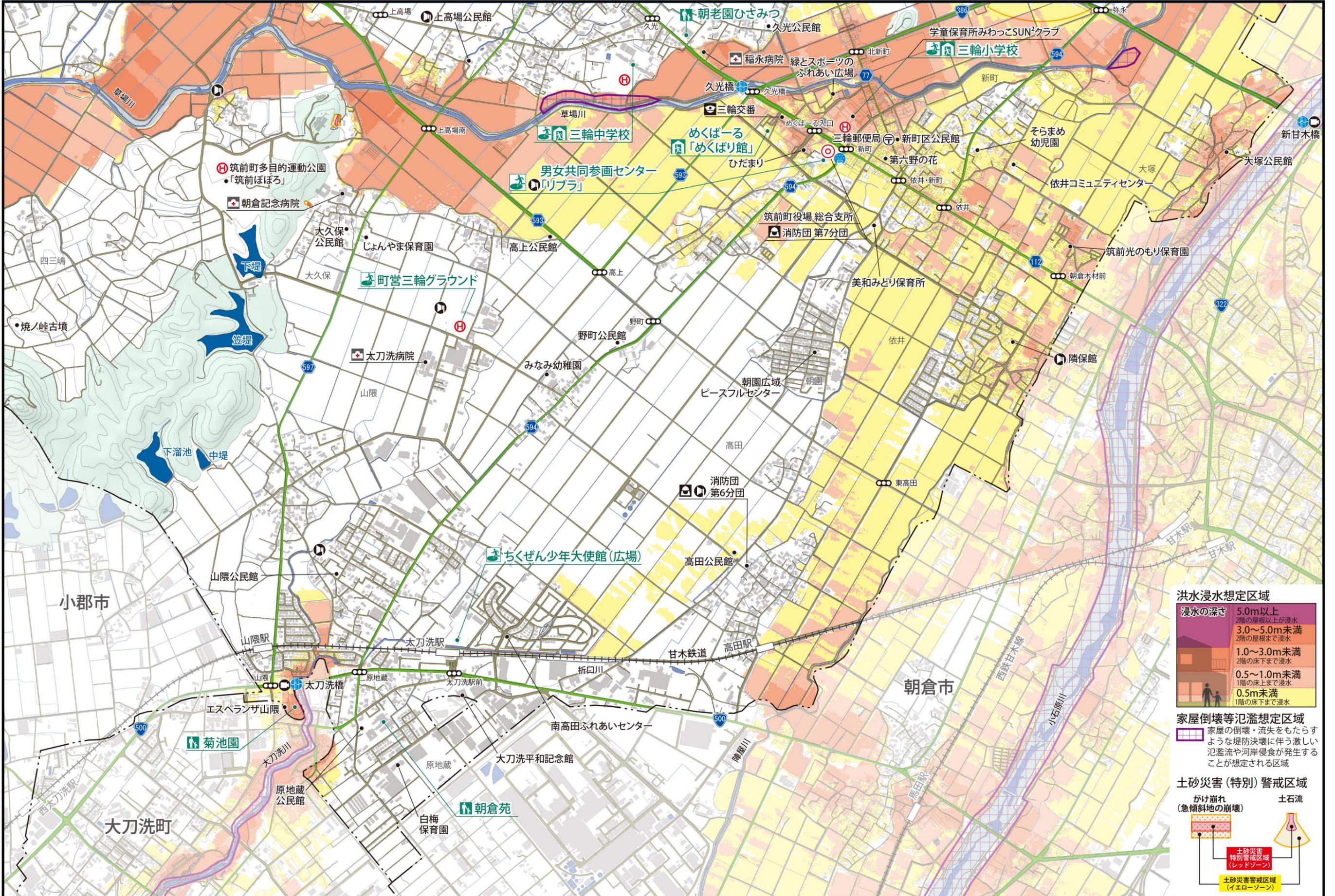
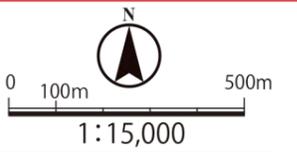
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

- 庁舎
- 消防機関
- 警察機関

- 医療施設
- 雨量観測所
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 災害用臨時ヘリポート
- 防災行政無線

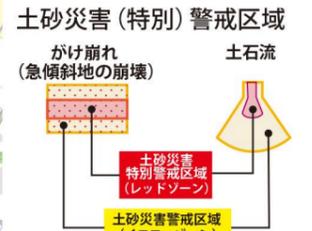
- アンダーパス
- 郵便局
- 防災重点ため池



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0m以上
	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満
	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満
	2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満
	1階の床まで浸水
	0.5m未満
	1階の床下まで浸水

家屋倒壊等氾濫想定区域
 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域



地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイタイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
役立つ情報
マイタイムライン

役立つ情報

避難所での過ごし方

協力して避難所運営を行いましょ

- 避難所マニュアルに従った秩序ある避難所運営を行う。
- 住民どうしの役割分担、要配慮者への支援をする。
- 助け合いの心を持ち、協力し合う。



貴重品は常に携帯しましょう

過去の災害では、避難所での盗難が発生しています。貴重品は必ず持ち歩きましょう。



プライバシーを守りましょう

他人の荷物などを勝手に触ったり、のぞいたりしないようにしましょう。



暑さ/寒さ対策をしましょう

停電などで空調が使用できない場合に備えて、うちわや扇子、薄い毛布（ブランケット）などを用意しておきましょう。



避難所内での感染症拡大を防ぐために...

- 感染防止対策が必要です。
- 人数制限の可能性があります。

マスクを着用しましょう

避難所内での感染症拡大を防ぐために、マスクを着用しましょう。体調がすぐれない方は受付時に係員へ申し出てください。



適切な距離を保ちましょう

避難所では、密を避け、他の人との間隔をあけるように心掛けましょう。



こまめに消毒をしましょう

ほとんどの場所が、たくさんの人の手が触れる共有スペースです。自分の生活スペースに戻る前に必ず消毒をしましょう。



避難所でのルールを守り、秩序を保って過ごしましょう！（下の図はイメージです。）



避難所ルール厳守

共同生活の場です。騒いだり、自分勝手な行動はやめ、ルールを守りましょう。



食物アレルギーに注意！

配給食料の中にはアレルギー対応していないものもあります。食品表示をよく確認するとともに、不安な時は避難所係員に聞いてください。



適度な運動を！

長時間同じ姿勢でいると、エコノミー症候群になる場合があります。定期的に立ち上がったたり、ストレッチをするなど、適度な運動を心掛けましょう。



要配慮者への協力

高齢者・乳幼児・傷病者・外国人の方には

高齢者や乳幼児は、手をつなぐ、背負うなどによりしっかりと援護します。傷病者には複数人で対応しましょう。急を要するときはひも等を使って背負うなどして、周囲の方が協力して援護しましょう。外国人の方で言葉が通じない場合には、声をかけて身振り手振りを交えて誘導しましょう。



からだの不自由な人には

それぞれの人に適した誘導方法を確認しましょう。車椅子の場合は、必ず複数人で協力し、スロープを上がる時は前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



目の不自由な人には

「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で。誘導するときは、杖を持っていないほうのひじのあたりを軽く触れるか、腕をかけて、半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。



視覚障がい者の安全やバリアフリーを考慮した建物・設備・機器に表示する世界共通のマークです。視覚障がい者の利用への配慮について、ご理解、ご協力をお願いします。

耳の不自由な人には

話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。口頭でわからないようであれば、紙とペンで筆談しましょう。紙やペンがなければ、相手の手のひらに字を書いて筆談しましょう。



このマークの呼び方は「耳マーク」。聴覚に障がいがある方は、見た目では不自由があることが分かりづらいため、このマークを見かけたら十分配慮しましょう。



女性への配慮

女性が避難所であるべくストレスなく過ごせるように、就寝場所や専用スペース等を巡回警備するなど、安全・安心への配慮が重要です。（女性用品の配布方法にも配慮が必要です）

災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～
<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukukou/guideline.html>



ペットも同行避難（環境防災課 要事前連絡）

ペットと一緒に避難

町が指定する避難所では、ペットを連れて避難できますが、基本的に屋外での飼養となります。アレルギーなどがある避難者の方もいますので、周囲の方への十分な配慮をお願いします。

ペット用避難用具

衛生管理上、ペットは屋外となります。そのため、ケージは必ず持参していただくとともに、日頃からケージに慣れさせておいてください。町ではペット用品の備蓄はしていません。ペット用品（食料等）は飼い主の方が持参してください。



役立つ情報 非常持出品、備蓄品

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。
非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように日頃から備えておきましょう。

枕元に置いておきたいもの

- 運動靴(底が厚いもの)
- 懐中電灯・ヘッドライト
- 携帯電話・スマートフォン
- 非常用持出袋(リュックサックなど)
- 防寒着 タオル・毛布



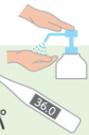
非常用持出袋に入れておくもの

- 常備薬・救急セット(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ビニール袋・ゴミ袋
- マスク 軍手
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 携帯ラジオ
- 電池・充電器類 筆記具(油性ペン)
- 着替え(下着・靴下)
- 食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 飲料水



感染症対策として備えておきたいもの(自宅を離れる場合)

- マスク アルコール消毒液 除菌シート
- 体温計 使い捨てビニール手袋 スリッパ



あると便利なもの

- 防災ずきん・ヘルメット 防寒具・雨具
- めがね・コンタクトレンズ 使い捨てカイロ
- 工具 簡易食器(割り箸・紙皿) 料理用ラップ
- マッチ・ライター 携帯トイレ
- 生理用品 折りたたみ椅子



食料・飲料などの備蓄(最低3日間、推奨1週間)

- 電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から「3日分」の飲料水や保存のきく食料などを備蓄しておきましょう。
- 食料(3日分以上) 缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
 - 飲料水 3日分(1人1日3リットルが目安)
 - トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ、缶切り、ラップなど

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。
※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。
日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておくなどの備えをしておきましょう。



被災時に備える「ローリングストック法」

防災のために特別なものを用意するのではなく、普段からちょっと多めに食材やレトルト食品を買い置きし、食べた分を買い足し、備蓄していく「ローリングストック法」により、賞味期限が短いレトルト食品等も非常食として活用できます。

ローリングストック法で覚えておきたい3つのポイント

- POINT 1 ストックするのは「食べなれた食品」
- POINT 2 備蓄した食品は普段から食べる
- POINT 3 食べた分は早めに補充する



災害情報の伝達方法と入手先

災害に関する情報は、次のような手段で入手することができます。
あらかじめ登録やアクセスの確認を行っておき、いざという時にスムーズに情報を入手できるようにしておきましょう。

防災行政無線

町民のみなさまに災害情報などをいち早くお伝えするためのものです。



防災行政無線戸別受信機

無償貸与している戸別受信機は、町や地区からの情報のほかに防災情報も流れます。

電話からの申込み方法

環境防災課 消防安全係
電話番号：0946-42-6609
受付時間：平日 8時30分から 17時15分
※電話での申込み後、設置まで約1か月程度お時間がかかります。



緊急速報メール

携帯電話事業者が無料で提供するサービス(事前登録不要)で、災害・避難情報など回線混雑の影響なく、町内の対応端末(スマートフォン・携帯電話)に一斉配信するものです。

キキクル(危険度分布)

この雨大丈夫? そんな時は気象庁ホームページ『キキクル』で確認。
雨による災害の危険度を地図上にリアルタイムで確認できます。
雨による災害の危険度は10分ごとに更新されます。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



- 大雨警報(土砂災害)
- 大雨警報(浸水害)
- 洪水警報

筑前町公式ホームページ

<https://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/>



福岡県防災ホームページ

<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/>



Yahoo! 防災速報アプリ

<https://emg.yahoo.co.jp>



福岡県防災アプリ「まもるくん」

現在地のリアルタイムの災害情報や付近の避難所の場所、安否確認等、災害時に役立つ情報が配信されます。

https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app_mamorukun/

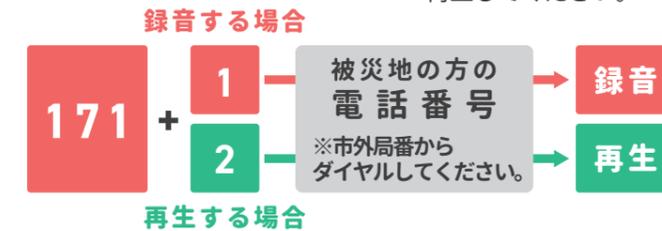


災害時の連絡方法

災害時は、被災地への電話がつながりにくくなります。
災害伝言ダイヤル「171」、災害伝言板「web171」を利用することにより、自身の安否情報の登録、家族や友人などの安否情報を声や文字により確認することができます。

災害用伝言ダイヤル「171」

ガイダンスに沿って録音、再生してください。



災害用伝言板 web171

インターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する伝言板です。

- <https://www.web171.jp> または「web171」で検索
- 伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力
- 説明に従い登録/確認



マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは？

台風接近などによって河川の水位が上昇した場合や大雨等により土砂災害が発生しそうな場合などに、一人ひとりがとる防災行動について、「いつ」「だれが」「なにをするのか」を整理した個人の防災計画です。
あらかじめ災害時の自分の行動をシミュレーションしておくことで、急な判断が迫られる災害時に、自分自身の行動のチェックや、避難の判断をサポートするツールとして役立てることができます。

わが家の浸水想定

m ~ m

わが家の緊急避難所

職場・学校などよくいる場所の
浸水想定

m ~ m

家族の集合場所

家

マイ・タイムライン

【 年 月 日作成】

いつ				だれが					なにをするのか					住民の皆さんのとるべき行動
周囲の状況	警戒レベル	気象情報 避難情報	行動目安	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	※記入例	
3日前 台風が発生 自分がいる所で降っていかなくても、上流で雨が降れば川の水は増えてくる	警戒レベル 1	早期注意情報 (気象庁が発表)	大雨になるまでに										<ul style="list-style-type: none"> 気象情報の確認 家族の行動予定を確認 携帯電話の充電 	<ul style="list-style-type: none"> 最新の気象情報等を入手する。 備蓄品など防災グッズの確認。 
2日前 台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる 雨が集まって、川の水がだんだん増える														
1日前 水防団待機水位到達 小石原川(新甘木橋) 1.41m 宝満川(下見橋) 2.30m 氾濫注意水位到達 小石原川(新甘木橋) 1.79m 宝満川(下見橋) 2.68m	警戒レベル 2	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	避難前に確認すること										<ul style="list-style-type: none"> 非常用持出袋を準備 避難方法を確認 貴重品を管理 	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ等で避難行動を確認。 
12時間前 避難判断水位到達 小石原川(新甘木橋) 1.90m 宝満川(下見橋) 2.93m														
5時間前 氾濫危険水位到達 小石原川(新甘木橋) 2.20m 宝満川(下見橋) 3.29m	警戒レベル 3	高齢者等避難 (町が発令) 大雨・洪水警報 (気象庁が発表)	避難する時に注意すること											
3時間前 避難指示 (町が発令) 土砂災害警戒情報 (福岡県・気象庁が発表)														
0時間前 氾濫が発生	警戒レベル 5	緊急安全確保 (町が発令) 大雨特別警報 (気象庁が発表)												<ul style="list-style-type: none"> 立退き避難が難しい場合は、垂直避難など少しでも命が助かる避難行動をとる。

ここまでには必ず安全確保行動を終える

想定水深が3mを超えるところは、事前に決めている避難場所へ移動

すでに災害が発生している状況

命を守るための最善の行動を取ってください

※「緊急安全確保」については、気象状況によって発令しないこともあります。

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

役立つ情報

マイ・タイムライン